

平成30年度末における「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画」の質問・意見について(資料2)
目標値調書

区分	ページ	事業名	質問内容等	所管課
資料2				
第1節 食育の推進	1	1 食に関する知識普及の推進	Q : ○朝食欠食率 小学6年生と中学3年生の欠食率がそれぞれ増加しているが、増えている原因が何かあるのか。受験などが関係しているか。 A :	教育指導課
第2節 生活習慣の改善	2	3 健康管理	Q : ○健康相談・栄養相談の利用人数 平成27年度の策定時26人/年より年々減少しているような状況であるが、平成33年度(令和3年度)の目標値は120人/年となっている。この目標値を揚げた根拠となっている具体的な対策はあるのか。 A :	健康推進課
		5 歯と口	Q : ○歯周病健診の受診者数 すでに目標値を大幅に超えた受診者数で素晴らしい。平成30年度が特に多いのは何か対策をとったのか。 A :	健康推進課
			Q : ○歯周病検診の受診者数 歯と口の歯周病検診の受診者数が年々増加していますが、どのような働きかけをされたのでしょうか。 A :	
			Q : ○3歳児の虫歯のある者の割合 すでに、虫歯のある者の割合が14.6%と下回っているのに、評価が「D」なのはなぜか。 A :	
第3節 健康を支える環境の整備	2	1 こころの健康	Q : ○自殺者数 自殺者数は、年齢別の数が知りたい。 A :	
第4節 主な生活習慣病の発症及び重症化の予防	3	2 糖尿病・メタボリックシンドローム	Q : ○健康教室参加者数 目標値が現状値の約3倍の660人となっているが、人数を増やす具体的な対策はあるのか。 A :	健康推進課
第5節 親子の健康づくりの推進	4	1 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策	Q : ○乳幼児健康診査の受診率 どの検診も受診率は上がっているのに、評価が異なるのはなぜか。特に、3~4か月健診は100%ではないが、あがっているのに「D」評価なのはなぜか。 A :	健康推進課
その他			Q : 目標値の0%、100%のあとに、近づけるという言葉は要らないのでは。 A :	健康推進課